

花巻市博物館

〒025-0014 花巻市高松



26 地割 8 番地 1
TEL 0198-32-1030
FAX 0198-32-1050

【休館日】 12/28～1/1

【開館時間】 8時 30 分～16 時 30 分

花巻市は、江戸時代、盛岡藩の南の要塞として花巻城が置かれ、城代・北松齋によって今に続く町の基礎が築かれました。

稗貫・和賀を含む花巻地方の歴史や文化に関わる資料を収集し、「考古」「歴史」「美術・工芸」の三分野に分けて視覚的に分かりやすく展示・解説をしています。

区分	個人	団体 20 名以上
大人	350 円	300 円
高校生	250 円	200 円
小中学生	150 円	100 円

一般財団法人 花巻高村光太郎記念会 (高村山荘・高村光太郎記念館)

〒025-0037 花巻市太田 3-85-1



TEL 0198-28-3012
FAX 0198-28-3012

【休館日】
12/28～1/3

【開館時間】
8時 30 分～16 時 30 分

彫刻家、詩人として知られる高村光太郎が晩年の7か年を過ごした『高村山荘』では光太郎の旧宅と厩を、隣接する『高村光太郎記念館』では光太郎の代表作や太田村に遺した資料を公開しています。

区分	個人	団体 20 名以上
大人	700 円	600 円
各種学生・高校生	500 円	400 円
小中学生	300 円	200 円

宮沢賢治記念館

〒025-0001 花巻市矢沢 1-1-36



TEL 0198-31-2319
FAX 0198-31-2320

【休館日】
年末年始 (12/28～1/1)

【開館時間】 8時 30 分～17 時

(入館は 16 時 30 分まで)

2015 年春にオープン。
多彩なジャンルに及ぶ宮沢賢治の世界との出会いの施設。
展示室の 5 つの大スクリーンで賢治に影響を与えた事象を分野ごとに紹介しています。

区分	個人	団体 20 名以上
大人	350 円	300 円
高校生	250 円	200 円
小中学生	150 円	100 円

西和賀町 歴史民俗資料館

〒029-5511 和賀郡和賀町上野々



39 地割 190 番地 2
TEL 0197-82-3240

【休館日】 毎週月曜日 (祝日の場合はその翌日)、11 月中旬～4 月上旬)

【開館時間】 9時～16 時 30 分

(入館は 16 時まで)

主に西和賀町湯田地区に関連のある考古資料、文書資料、民俗資料の展示を行っております。
大台野遺跡の出土品や「鉱山の町」、「温泉の町」として栄えた湯田地区を特色づける資料の展示をしています。

分	個人	団体 20 名以上
大人	100 円	80 円
高校生以下	50 円	30 円
就学前の幼児は無料		

萬鉄五郎記念美術館

〒028-0014 花巻市東和町土沢 5-135



TEL 0198-42-4402
FAX 0198-42-4405

【休館日】 毎週月曜日 (祝日の場合はその翌日)、12/29～1/3、その他展示替期間中 (不定期)

【開館時間】 8時 30 分～17 時

(入館は 16 時 30 分まで)

日本の前衛絵画の先駆者・萬鉄五郎の生地に立つ美術館です。
常設展示では、萬の作品、生涯を油彩、素描、水彩画等により紹介しています。その他、絵本や国内外の美術を紹介する様々な企画展を開催します。

区分	個人	団体 20 名以上
大人	400 円	350 円
高校生	250 円	200 円
小中学生	150 円	100 円

(企画展の場合、上記料金に加算の場合あり)

碧祥寺博物館

〒029-5614 和賀郡西和賀町



沢内字太田 3-32
TEL 0197-85-3330
FAX 0197-85-2333

【休館日】 毎週火曜日、冬期間 (12/28～3/31)

【開館時間】 9時～17 時 (入館は 16 時まで)

当館には、国指定の重要有形民俗文化財の①丸木舟、②マタギ狩猟、③積雪期の生活用具、(計 2,278 点)をはじめ、約 1 万 5 千点の民具が陳列されています。
また、本堂には極彩色の浄土大壁画が描かれています。さらに奉安殿には大正天皇の礼服があります。

区分	個人	団体 20 名以上
大人	500 円	400 円
高大学生	300 円	250 円
小中学生	200 円	150 円

桜地人館

〒025-0084 花巻市桜町四丁目 14 番地



TEL 080-1664-9851

【休館日】
開館期間中 無休
12/16～翌 3/14 まで冬期休館
【開館時間】
9時～16 時

宮澤賢治の作品、出版物、高村光太郎の書、萬鉄五郎の代表的絵画、ほかに船越保武の作品を保存、展示しています。

区分	個人	団体
大人	350 円	300 円
高校生	250 円	200 円
小中学生	200 円	150 円

岩手県立博物館

〒020-0102 盛岡市上田松屋敷 34 番地



TEL 019-661-2831
FAX 019-665-1214

【休館日】毎週月曜
(祝休日の場合は翌平日)、資料整理日(9/1～9/10)、年末年始(12/29～1/3)、GW、夏休み期間臨時開館あり
【開館時間】9 時 30 分～16 時 30 分
(入館は 16 時まで)

岩手山を一望できる博物館。大型恐竜化石マメンキサウルスをはじめ、化石、岩石、考古、歴史、民俗、動植物などの資料を多数展示。昔の生活用具やおもちゃに触れたり、甲冑や鹿鳴館ドレスなど昔の衣服を試着できる体験学習室が人気。屋外には古民家、植物園、岩石園があります。
【入館料 令和5年4月～改定】

区分	個人	団体 20 名以上
大人	330 円	150 円
学生	150 円	80 円
高校生以下無料		

盛岡市子ども科学館

〒020-0866 盛岡市本宮字蛇屋敷 13-1



TEL 019-634-1171
FAX 019-635-2561

【休館日】毎週月曜日、毎月最終火曜日(祝祭日の場合は翌平日)ただし、夏・冬休みの期間中は開館、年末年始(12/29～1/3)、その他臨時休館あり
【開館時間】9 時～16 時 30 分
(入館は 16 時まで)

- 第1展示室
- 第2展示室
- 第3展示室
- プラネタリウム室 座席数 170 席

区分	展示室	プラネタリウム室	団体 30 名以上
大人(高校生～)	200 円	300 円	2割引
子ども(4歳～中学生)	100 円	100 円	

岩手県立美術館

〒020-0866 盛岡市本宮字松幅 12-3



TEL 019-658-1711
FAX 019-658-1712

【休館日】毎週月曜
(祝休日の場合は開館、直後の平日休館)、年末年始
【開館時間】9 時 30 分～18 時
(入館は 17 時 30 分まで)

萬鉄五郎、松本竣介、舟越保武を柱とした岩手ゆかりの作家の作品を常設展示しています。
また、国内外の様々なテーマによる企画展も実施。同時に、講演会やワークショップなど美術に親しむ多彩なイベントを開催しています。
*企画展についてはお問い合わせください。

区分	個人	団体 20 名以上
大人	460 円	370 円
学生	350 円	280 円
高校生以下無料		

盛岡市先人記念館

〒020-0866 盛岡市本宮字蛇屋敷 2-2



TEL 019-659-3338
FAX 019-659-3387

【休館日】毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)、毎月最終火曜日、年末年始(12/29～1/3)
【開館時間】9 時～17 時
(入館は 16 時 30 分まで)

新渡戸稲造、米内光政、金田一京助など、政治・経済・文化等の各分野で活躍した明治以降の盛岡にゆかりのある先人 130 人の資料が展示されており、それぞれの業績を知ることができます。

区分	個人	団体 30 名以上
一般	300 円	240 円
高校生	200 円	160 円
小中学生	100 円	80 円

原敬記念館

〒020-0866 盛岡市本宮四丁目 38-25



TEL 019-636-1192
FAX 019-636-1185

【休館日】毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3)
【開館時間】9 時～17 時
(入館は 16 時 30 分まで)

平民宰相、原敬の業績をしのび、生家の保存とゆかりの資料を保存・展示するために生家の敷地内に建設された記念館です。
・第1コーナー「若き日の原敬」
・第2コーナー「官僚時代」
・第3コーナー「新聞界から総理へ」
・第4コーナー「原敬の遺品」

区分	個人	団体 30 名以上
大人	200 円	120 円
小中学生	50 円	30 円

盛岡市 玉山歴史民俗資料館

〒028-4132 盛岡市洪民字洪民9



TEL 019-639-9067
FAX 019-639-9047
(盛岡市教育委員会事務局歴史文化課)

【休館日】毎週月曜日(国民の祝日に当たる場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3)
【開館時間】9 時～17 時
(入館は 16 時 30 分まで)
令和6年12月まで改修工事のため休館予定
令和7年1月リニューアルオープン予定

- 民俗資料 — 農具、生活用具、野良着
- 考古資料 — 旧石器～古代の土器・石器、近世礫石経
- 歴史資料—修験道法具

入館無料

石川啄木記念館

〒028-4132 盛岡市洪民字洪民9



TEL 019-683-2315
FAX 019-683-3119

【休館日】年末年始(12/29～1/3)、毎週月曜日(祝祭日の場合翌平日)
【開館時間】9 時～17 時
(入館は 16 時 30 分まで)
令和6年12月まで改修工事のため休館予定
令和7年1月 リニューアルオープン予定

啄木の生涯と文学について「啄木文学の揺籃」、「あこがれの世界」、「林中の生活」、「北への漂泊」、「東京時代」とわかりやすく紹介しています。中庭には啄木と子どもたちの像や、旧洪民尋常小学校校舎、代用教員時代に間借りした旧斎藤家が移築されています。

区分	個人	団体 20 名以上
大人	300 円	240 円
高校生	200 円	160 円
小中学生	100 円	80 円

盛岡中央公民館

〒020-0013 盛岡市愛宕町 14-1



TEL 019-654-5366
FAX 019-653-3505

【休館日】毎週月曜日(祝・休日の場合は翌平日)及び年末年始(12/29～1/3)、その他臨時休館日あり
【開館時間】9 時～17 時
(最終入室は 16 時 30 分まで)

常設展示はありませんが、美術・歴史・民俗・文学等の企画展を年2回程度行います。
敷地内には、江戸時代の商家で重文「旧中村家住宅」、登録有形文化財「旧南部家別邸」、登録記念物「旧南部氏別邸庭園」があります。

【入館料】
企画展によってその都度変わります。

(一社) 深沢紅子野の花美術館

〒020-0885 盛岡市紺屋町 4-8



(中津川沿い・岩手県民会館対岸)
TEL 019-625-6541
FAX 019-625-6533

【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始展示替え等による休館あり
【開館時間】10 時～17 時

盛岡市出身の洋画家・深沢紅子の作品と業績を顕彰するため、故郷の原風景広がる地に、市民運動が結実して開館した美術館です。
遺族から盛岡市に寄贈された作品を中心に、作者が慈しみ描いた水彩や油彩による花・女性像などを企画展示で鑑賞でき、癒しの空間として親しまれています。

区分	個人	団体 20 名以上
大人	500 円	400 円
高校生	300 円	
小中学生	200 円	

盛岡市動物公園 ZOOMO

〒020-0803 盛岡市新庄字下八木田



60-18
TEL 019-654-8266
FAX 019-654-8913

【休園日・開館時間】
[4/1～10/31] 毎週水曜日
9:30～16:30(入園 16:00 まで)
[11/1～3/31] 毎週水曜日・木曜日及び年末年始(12/29～1/3)
10:00～16:00(入園 15:30 まで)

豊かな里山の風景の中で、風土になじみ深いニホンツキノワグマやイヌワシなどの動物や、アフリカゾウやライオンなど約 60 種 300 頭羽の動物が元気に暮らしている姿をご覧いただけます。
【最新情報はホームページ
(<https://zoomo.co.jp/>)をご覧ください。】

区分	個人	団体 20 名以上
大人(高校生以上)	1000 円	800 円
小人(小・中学生)	500 円	400 円
幼児無料		

盛岡市遺跡の学び館

〒020-0866 盛岡市本宮字荒屋 13 番地 1



TEL 019-635-6600
FAX 019-635-6605

【休館日】毎週月曜日(祝祭日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3)、毎月最終火曜日、その他臨時開館・休館の場合あり
【開館時間】9 時～17 時
(入館は 16 時 30 分まで)

館内床・壁面航空写真に市内主要遺跡の分布の変化を観察できる他、縄文時代の遺跡発掘現場を再現したスペース、出土土器等の遺物約 800 点の展示等を通じて、考古学からみた盛岡の歴史について学ぶことができます。

区分	個人	団体 20 名以上
一般	200 円	160 円
小中学生	100 円	80 円
幼児	無	料

盛岡市 都南歴史民俗資料館

〒020-0842 盛岡市湯沢1地割1番地 38



TEL 019-638-7228
FAX 019-638-7228

【休館日】毎週月曜日(国民の祝日に当たる場合は翌平日)
年末年始(12/29～1/3)
【開館時間】9 時～16 時

旧都南村地域の資料を中心に、考古資料、歴史資料、信仰資料、民具、農具など、各時代の人々の生活を思わせる貴重な文化財を収集し、約 1400 点を常設展示公開しています。

入館無料

奥州市立 胆沢郷土資料館

〒023-0401 奥州市胆沢南都田字
加賀谷地1-1
TEL 0197-46-2133
FAX 0197-46-2135
見学の問合わせ(奥州市教育委員会歴史遺産課)
TEL 0197-34-1316、FAX 0197-35-7551
【休館日】毎週月曜日、年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時~17時
(入館は16時30分まで)

稲作を中心に発展してきた胆沢地方の歴史と文化を紹介する資料館。
大清水上遺跡(国指定史跡)出土の縄文土器、弥生時代の石庖丁(国指定有形文化財)、角塚古墳(国指定遺跡)出土の埴輪のほか農機具や民具など、地域の歴史を物語る資料を展示しています。

区分	個人	団体15名以上
大人	200円	100円
高校生	100円	50円
小中学生	50円	30円

毛越寺宝物館

〒029-4102 西磐井郡平泉町
平泉大字 58
TEL 0191-46-2331
FAX 0191-46-4184

【休館日】展示替え、全館掃除等の際に臨時休館(年2~3回)
【開館時間】8時30分~17時
(11/5~3/4は16時30分)

平安時代の代表的伽藍と浄土庭園の貴重な意向を今に伝える数多くの境内出土品や仏像・仏具・仏画・経典・延年の舞用具等が展示されている宝物館です。
奥州藤原氏の時代から現在までの毛越寺を宝物やパネルを通して知ることができます。
下記、毛越寺拝観料にてご覧いただけます。

区分	個人	団体30名以上	団体100名以上
大人	700円	630円	560円
高校生	400円	360円	320円
小中学生	200円	180円	160円

千田正記念館

〒029-4502 胆沢郡金ケ崎町三ヶ尻
谷地中 98
(開館時)
TEL 0197-44-2495
(閉館時)
TEL 0197-44-3123
FAX 0197-44-3125
【開館日】5月~10月の金、土、日、祝日
【開館時間】10時~16時

参議院議員3期、岩手県知事4期を務めた千田正を顕彰する館で、生家、正光館(旧知事公舎応接室)、板倉からなり、生家には少年時代から知事時代までの資料や遺品を展示しております。
正光館は元岩手県知事公舎の応接室を移築したものです。国登録有形文化財。

入館無料

岩手県立平泉世界遺産ガイドセンター

〒029-4102 西磐井郡平泉町平泉字 伽羅楽 108-1
TEL 0191-34-7377
FAX 0191-34-7378

【休館日】毎月末日(土曜・日曜の場合は前日)、年末年始(12/29~1/3)、資料整理日(不定)
【開館時間】4月~10月 9時~17時
11月~3月 9時~16時30分
(入館はいずれも閉館30分前まで)

世界遺産「平泉」及び関連する遺跡への周遊の出発点となる施設です。
仏国土(浄土)の世界観を投影するプロローグシアターや復元された「平泉館」のジオラマ、隣接する柳之御所遺跡の出土資料など、平泉の文化遺産の価値をわかりやすく展示・解説しています。

区分	個人	団体20名以上
一般	310円	140円
学生	140円	70円
高校生以下	無料	

金ケ崎要害歴史館

〒029-4503 胆沢郡金ケ崎町西根
達小路2番地1
TEL 0197-42-3060
FAX 0197-42-3061
【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時~17時

平成26年6月29日開館。江戸時代の仙台藩の拠点「金ケ崎要害」を中心とした金ケ崎町の歴史や文化を紹介しています。
金ケ崎町の通史を紹介する写真パネルやアケボノゾウの足跡の展示、企画展コーナーも併設しています。

区分	個人	団体20名以上
大人	200円	150円
小・中・高校生以下 無料		

岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館

〒024-0001 北上市飯豊 3-110
TEL 0197-68-3975
FAX 0197-68-3962

【休館日】毎週月曜日(祝祭日の場合は翌平日)、年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時~16時30分
(入館は16時まで)

昭和初期まで使われていた農具や生活用具の実物資料を多数展示しており、岩手で営まれてきた農業の歴史と作業の様子、人々の暮らしを感じていただけます。
また、ゲームやクイズを体験しながら、農業について楽しく学ぶことができます。

区分	個人	団体20名以上
一般	320円	150円
学生	150円	80円
高校生以下	無料	

軍馬の郷六原資料館

〒029-4501 胆沢郡金ケ崎町六原
蟹子沢 17番地1
(開館時)
TEL 0197-43-2077
(閉館時)
TEL 0197-44-3123
FAX 0197-44-3125
【休館日】毎週月・火・水・木曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始(12/29~1/3) ※1~3月は閉館
【開館時間】10時~16時

先人桑島重三郎の尽力によって明治31年に開設された旧陸軍省軍補充部六原支部の官舎第一棟(明治44年建築)を改修し、平成28年10月1日に開館した。
洋風官舎の中に軍馬補充部や桑島重三郎の功績に関する資料等を展示。
平成29年に国の有形文化財(建造物)に登録されました。

入館無料

北上市立博物館

〒024-0043 北上市立花 14-59
TEL 0197-64-1756
FAX 0197-64-1860

【休館日】12月から翌3月までの毎週月曜日(祝祭日の場合は翌平日)、祝日の翌平日、年末年始(12/28~1/4)
【開館時間】9時~17時
(入館は16時30分まで)

- 国見山廃寺や北上川舟運など北上の歴史的特徴を6つのテーマで紹介しています。
- 和質分館(北上市和賀町横川目11-160)には歴史資料のほか生き物のほく製や化石などの自然資料も展示中です。

区分	個人	団体20名以上
一般	500円	400円
高校生	240円	180円
小中学生	170円	120円

平泉文化遺産センター

〒029-4102 西磐井郡平泉町平泉字
花立 44
TEL 0191-46-4102
FAX 0191-46-4019
【休館日】年末年始
【開館時間】9時~17時
(入館は16時30分まで)

世界遺産に登録された資産を含めた「平泉の文化遺産」の魅力をパネルや映像などでわかりやすく紹介しているガイド施設です。
史跡を訪れる前に見学していただくと、より平泉の歴史を理解することができます。

入館無料

遠野市立博物館

〒028-0515 遠野市東郷町3番9号
TEL 0198-62-2340
FAX 0198-62-5758
【休館日】月末日、月曜日(11月~3月)、1/28~1/31、11/24~11/30
【開館時間】9時~17時
(入館は16時30分まで)

映像シアターでは、故水木しげる氏のオリジナルアニメや遠野の昔話が上映されており、「遠野物語」の不思議な世界をたっぷり楽しめます。
敵しい気候風土を生きた人々の暮らしと信仰を豊富な民俗資料とジオラマ、映像などで紹介しています。
柳田國男の「遠野物語」原稿など貴重な文献も展示しています。

区分	個人	団体20名以上
大人	310円	260円
高校生以下	160円	110円

平泉文化史館

〒029-4102 西磐井郡平泉町平泉
坂下 10-7
TEL 0191-46-2011
FAX 0191-46-2088
【休館日】5月~11月は無休、冬期間(12月~4月)は閉館、不定休です。
【開館時間】9時~16時

黄金の仏都・平泉の栄華を紹介する中尊寺玄奘閣の資料館です。東大名誉教授・藤原亥治郎氏がライフワークとした学術調査に基づき復元した毛越寺・無量光院・二階大堂の模型、出土資料、絵図など貴重な文化財を展示しています。

区分	個人	団体30名以上
大人	310円	1割引
高校生	150円	100名以上
小中学生	100円	2割引

なお、現在開館は致しておりません。予約があれば相談にてオープンしています。

遠野ふるさと村

〒028-0661 遠野市附馬牛町
上附馬牛 5-89-1
TEL 0198-64-2300
FAX 0198-64-2827
【休館日】無休
【開館時間】9時~17時
(入村は4月~10月16時まで、11月~3月は15時まで)

江戸から明治の古民家(南部曲り家)を移築・復元。地元の人々が暮らしているような集落を再現した民俗体験観光施設です。
家の中には地元の人達がいて、おもてなしをしてくれるほか、体験工房もあり、草木染めや陶芸や陶芸の体験もできます。
肝煎りの家は今でも座敷わらすが住んでいると伝えられています。

区分	個人	団体20名以上
一般	550円	50円引き
小中高生	330円	

世嬉の一・ 酒の民俗文化博物館

〒021-0885 一関市田村町 5-42
TEL 0191-21-1144
FAX 0191-21-1143

【休館日】毎週火曜日、
年末年始(12/30~1/3)
【開館時間】9時30分~17時

館の建物は東日本有数の規模を誇る大正7年建設の酒蔵です。国の有形登録文化財の指定を受けています。酒造りの様子が理解できるほか、大きな桶に入ってみることもできます。館内には島崎藤村、井上ひさしさんなど、一関ゆかりの文学者を顕彰する「文学の蔵」も併設されています。併設レストラン、売店もあります。

区分	個人	団体 10名以上
一般	300円	250円
小中学生	200円	150円

奥州市立 斎藤實記念館

〒023-0054 奥州市水沢字吉小路 24
TEL 0197-23-2768
FAX 0197-23-2768

【休館日】毎週月曜日(祝日の場合はその翌平日)、年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時~16時30分

海軍大臣、朝鮮総督、内閣総理大臣を歴任し、二・二六事件で凶弾に倒れた水沢出身の斎藤實を顕彰する記念館。昭和7年に建てられた書庫と旧宅も公開しています。

区分	個人	団体 15名以上
一般・大学生	200円	100円
高校生以下	無料	

芦東山記念館

〒029-0521 一関市大東町洪民字
伊勢堂 71-17
TEL 0191-75-3861
FAX 0191-75-3862

【休館日】毎週月曜日(祝祭日の場合は翌平日)、年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時~17時
(入館は16時30分まで)

江戸時代中期仙台藩で活躍した儒学者芦東山。県指定有形文化財「原本無刑録」をはじめとする東山に関する資料を展示し、映像やグラフィック、パソコンを使ったQ&Aコーナーなどで、東山の生涯を分かりやすく解説しています。

区分	個人	団体 20名以上
一般	300円	240円
高大学生	200円	160円
※中学生以下無料、※65歳以上の一関市民の方は無料、※障害者手帳等をお持ちの方及びその付き添いの方は無料		

奥州市立 後藤新平記念館

〒023-0053 奥州市水沢大手町4-1
TEL 0197-25-7870
FAX 0197-25-7870

【休館日】毎週月曜日(祝日の場合はその翌平日)、年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時~16時30分

医者、行政官、台湾民政長官、満鉄初代総裁、通信・内務・外務大臣、東京市長、復興院総裁等多岐に渡る役職をこなした、明治から大正にかけての先見の政治家後藤新平ゆかりの資料を展示し、その生涯の業績を紹介。当時の演説肉声も公開。新平ゆかりの日本初公民館に隣接しています。

区分	個人	団体 15名以上
一般・大学生	200円	100円
高校生以下	無料	

石と賢治のミュージアム

〒029-0303 一関市東山町松川字
滝ノ沢 149-1
TEL 0191-47-3655
FAX 0191-47-3944

【休館日】毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時~17時
(入館は16時30分まで)

石とふれあい、賢治の足跡をたどるミュージアム。「みんなのほんとうの幸せ」を求め、理想郷創造に進出した技師宮沢賢治と工場主鈴木東蔵の心の生き方に触れるミュージアムです。「雨ニモマケズ」はこの場所で生まれました。旧東北砕石工場は産業遺産として国登録文化財に指定されています。

区分	個人	団体 20名以上
一般	300円	240円
高大学生	200円	160円
小中学生	無料	

奥州市武家住宅資料館

〒023-0054 奥州市水沢字吉小路 43
TEL 0197-22-5642
FAX 0197-22-5642

【休館日】毎週月曜日(祝日の場合はその翌平日)、年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時~16時30分

- 奥州市指定有形文化財「水沢伊達家 家臣 旧内田家住宅主屋及び門」
- 岩手県指定有形文化財「武家住宅(後藤新平旧宅)」
- 武家住宅資料センター
- 国指定史跡「高野長英旧宅」
国登録有形文化財「旧高野家住宅古稀庵・新座敷・板倉・瑞草文庫」
(見学希望の方は事前にご相談ください。)
- 国指定重要文化財「旧高橋家住宅」(非公開)

入館無料

大籠キリシタン殉教公園 資料館クルス館

〒029-3522 一関市藤沢町大籠字
右名沢 28-7
TEL 0191-62-2255
FAX 0191-62-2255

【休館日】毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時~16時

大籠キリシタン殉教と製鉄に関する資料を展示しています。布教から殉教に至るまでをジオラマにより再現。映像「大籠キリシタン殉教の歴史」を随時上映しています。大籠殉教記念クルス館には舟越保武氏のブロンズ像3点が展示されています。

区分	個人	団体 20名以上
一般	300円	240円
高校・大学生	200円	160円

※中学生以下無料
※65歳以上の一関市民の方無料
※障害者手帳をお持ちの方及びその付き添いの方は無料

菊田一夫記念館

〒023-1111 奥州市江刺大通り3番1号
TEL 0197-35-9800
FAX 0197-35-9800

【休館日】毎週火曜日(祝日の場合はその翌平日)、年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】10時~17時

劇作家菊田一夫が家族とともに江刺に疎開し、その宿から見た風景が岩谷堂町役場(現在の旧岩谷堂共立病院)のとながり帽子の赤い屋根でした。それをモチーフにしたといわれている「鐘の鳴る丘」の資料を中心に彼の生涯と作品資料の展示をしています。

入館無料

奥州市 埋蔵文化財調査センター

〒023-0003 奥州市水沢佐倉河字
九蔵田 96-1
TEL 0197-22-4400
FAX 0197-22-4600

【休館日】火曜日、年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時~16時30分

古代城柵遺跡「胆沢城」を中心とした展示公開施設です。《常設展示》胆沢城以前の暮らし、胆沢城の造営、官人と兵士、古代食、祈りと信仰、悪路王首像など《映像コーナー》「古代東北蝦夷の世界」上映《ビデオコーナー》漆紙文書、古代食再現

区分	個人	団体 15名以上
一般	300円	150円
高校生以下	無料	

えさし郷土文化館

〒023-1101 奥州市江刺岩谷堂字
小名丸 102-1
TEL 0197-31-1600
FAX 0197-31-1601

【休館日】1月1日(資料整理等のため休館する場合があります。)
【開館時間】9時~17時
(11/1~2月末日は9時30分~16時)

江戸時代中期に彫刻された百一体の中善観音や藤里兜毘沙門天立像(複製)等の仏教資料を展示。

また、先人達が使用した農具等の発掘品や昔の農作業風景をジオラマや写真パネルで紹介。そば打ちやさき織り、勾玉づくりなどの体験もできます。

区分	個人	団体 10名以上
大人	400円	300円
高校生	300円	200円
小中学生	200円	150円
未就学児童	無料	

奥州市立 高野長英記念館

〒023-0857 奥州市水沢中上野町
1番9号
TEL 0197-23-6034
FAX 0197-23-6034

【休館日】毎週月曜日(祝日の場合はその翌平日)年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時~16時30分

日本の夜明けに生涯を捧げた幕末の蘭学者、高野長英の遺品「直筆資料」を中心に、著作、肖像、伝記行状、顕彰献辞等の資料を常設展示しています。生誕地、旧宅(国史跡)も近くにあり、訪ね歩くことができます。

区分	個人	団体 15名以上
一般・大学生	200円	100円
高校生以下	無料	

奥州市牛の博物館

〒029-4205 奥州市前沢字
南陣場 103-1
TEL 0197-56-7666
FAX 0197-56-6264

【休館日】毎週月曜日、
年末年始(12/28~1/4)
【開館時間】9時30分~17時
(入館は16時30分まで)

「牛と人との共存を探り、生命・自然・人間を知る」をテーマとする世界唯一の牛専門の登録博物館です。

牛の生物学・牛と人との関わり、前沢牛と郷土の3つの構成からなり、牛の進化、品種や体の仕組みから前沢牛の歴史まで、牛と人間の関わりを幅広く紹介しています。

区分	個人	団体 15名以上
大人	400円	100円引き
高大学生	300円	
小中学生	200円	

※ 奥州市、北上市、金ヶ崎町及び西和賀町の小中学生は入館無料

もりおか啄木・賢治 青春館

〒020-0871 盛岡市中ノ橋通 1-1-25
TEL・FAX 019-604-8900



【休館日】毎月第2火曜日
(第2火曜日が祝祭日の場合は、翌日休館)、年末年始(12月29日～1月3日)
【開館時間】10:00～18:00(最終入場 17:30)2階・展示ホール
10:00～17:30(最終入場 17:00)

もりおか啄木・賢治青春館は、旧九十銀行本店本館を保存活用し、石川啄木と宮沢賢治が青春を育んだ盛岡のまちと二人について紹介しています。日本を代表する文学者となった二人は、時期はすれ違っていますが同じ盛岡中学校に学びました。当時の盛岡は近代的な洋風建築が建ちはじめ、モダンな雰囲気が漂う街でした。啄木と賢治が愛した当時の盛岡の街と二人の青春時代に思いを馳せながら、青春館でのひとときをお楽しみください。

入場無料

野村胡堂・あらえびす記念館

〒028-3315 紫波郡紫波町彦部
字暮坪 193-1
TEL 019-676-6896
FAX 019-676-6897



【休館日】毎週月曜日
(祝・休日の場合はその翌日)
年末年始(12/28～1/4)
【開館時間】9時～16時 30分
(入館は16時まで)

「銭形平次捕物控」など多くの作品を執筆した野村胡堂。
新聞記者や作家、「あらえびす」のペンネームで音楽評論家としても活躍した生涯を、作品や執筆原稿、書簡などさまざまな資料で紹介しています。
また、第2、4水曜日と毎月第3日曜日午後からレコードコンサートを開催しています。

区分	個人	団体 20名以上
一般	310円	260円
小中高校生	150円	100円

もりおか町家物語館

〒020-0827 盛岡市鉦屋町 10-8
TEL 019-654-2911
FAX 019-654-2913



【休館日】毎月第4火曜日
(第4火曜日が祝祭日の場合は、翌日休館)、年末年始(12月29日～1月3日)
【開館時間】9:00～19:00
(最終入場 18:30)
施設内店舗 10:00～17:00

もりおか町家物語館は、平成18年まで酒造りが行われていた“旧岩手川鉦屋工場”を盛岡市がリニューアルし、平成26年7月に「懐かしの賑わいに出会う」をコンセプトにオープンしました。奥州・遠野・宮古の三街道が合流する盛岡城下の入口として栄えた鉦屋町の「盛岡町家」の魅力や庶民の暮らし文化を貴重な「資源」として、保存・活用・発信していくことを目指します。

入場無料

矢巾町歴史民俗資料館

〒028-3603 紫波郡矢巾町大字西徳田
3-188-2
TEL 019-697-3704
FAX 019-697-3704



【休館日】毎週月曜日
(祝・休日の場合は翌平日)、
年末年始(12/29～1/3)
【開館時間】9時～16時 30分

国指定史跡「徳丹城跡」に隣接しています。
徳丹城跡の発掘調査で出土した柱脚や遺物等の資料を中心に展示。また、町内遺跡群出土の考古資料もコーナーを別にして展示しています。
敷地内には町指定有形文化財「佐々木家」(南部曲屋)を移設、復元しています。

区分	個人	団体 10名以上
一般・大学生	160円	130円
小中高校生	60円	50円

もりおか歴史文化館

〒020-0023 盛岡市内丸 1-50
TEL 019-681-2100
FAX 019-652-5296



【休館日】毎週第3火曜日
(祝・休日の場合は翌平日)、その他臨時閉館・休館・閉室あり
【開館時間】4月～10月(9時～19時)
11月～3月(9時～18時)
〔2階展示室の入場は閉館30分前まで〕

もりおか歴史文化館は、旧岩手県立図書館を増改築し、平成23年7月、盛岡城跡公園(岩手公園)の一角に開館しました。
1階では盛岡の祭りや観光情報など、2階では城下町盛岡の成立過程や盛岡藩主南部家に関する資料を展示しています。

区分	個人	団体 20名以上
大人	300円	240円
高校生	200円	160円
小中学生	100円	80円

久慈琥珀博物館

〒028-0071 久慈市小久慈町
19-156-133
TEL 0194-59-3831
FAX 0194-59-3515



【休館日】
毎週火曜日(12月～2月)、年末年始(12/31～1/1)、2月末日
【開館時間】9時～17時

世界有数の琥珀産地にある国内唯一の琥珀専門博物館。参加体験型展示の新館とテーマ展示の本館があり、常設展示資料約600点により琥珀の生い立ちや性質、歴史などを紹介しています。
琥珀採掘や勾玉作りなどの独自の体験も人気です。

区分	個人	団体 20名以上
65歳以上	400円	400円
高校生以上	500円	400円
小中学生	200円	150円
幼児	無料	

小岩井農場資料館

〒020-0507 岩手郡雫石町丸谷地 36-1
TEL 019-692-4321
FAX 019-692-0303



【休館日】
冬期休館(11月中旬～4月中旬)
【開館時間】9時～16時

1891(明治24)年から日本の酪農の歴史と共に歩んできた小岩井農場について紹介する資料館。
隣接地にある明治から昭和初期に建てられた牛舎群は国指定重要文化財となっており、実際の飼育現場を見学しながら酪農の歴史を体感することができます。

入館無料

※ ただし、別途まきば園入園料
大人 800円 / 子ども 300円

久慈地下水族科学館 もぐらんぴあ

〒028-7081 久慈市侍浜町
表生 1-43-7
TEL 0194-75-3551



【休館日】毎週月曜日
(祝祭日の場合はその翌日)、年末年始(臨時閉館あり、要問い合わせ)
【開館時間】
4月～10月 9時～18時
11月～3月 10時～16時
(最終入館は閉館30分前)

石油備蓄基地を造る作業用トンネルを利用した施設で水族館と石油資料館になっています。東日本大震災で壊滅的な被害を受け、再オープンしました。震災を生き抜いたアオウミガメのいるトンネル水槽や、クラゲ水槽が人気です。久慈の海水槽では、「南部潜り」、「海女の素潜り」を見ることが出来ます。
また、応援団長さかなクンコーナーもあります。

区分	個人	団体
一般	700円	500円
高・大学生	500円	300円
小中学生	300円	200円
幼児	無料	

御所湖 川村美術館

〒020-0572 岩手郡雫石町西安庭
11-55-6
TEL 019-692-5931
FAX 019-692-5931



【休館日】
月曜日(祝祭日の場合は翌平日)
【開館時間】9時30分～17時

東欧の絵画や彫刻を常設。3か月ごとに企画展を開催。東欧の作品を主体とした、国内でもめずらしい美術館です。
館内に併設の「カフェ・あうる」にて、お茶やお食事を楽しむことができます。

区分	個人	団体 10名以上
大人	500円	400円
小中学生	400円	300円

久慈市立 三船十段記念館

〒028-0082 久慈市川貫 5-20-230
TEL 0194-53-2210
FAX 0194-53-2240



【休館日】毎週月曜日・月末火曜日
(ただし月曜日が祝日の場合はその月曜日に最も近い平日)・年末年始(12/29～1/3)
【開館時間】9時～16時 30分

久慈市の生んだ柔道家、三船久蔵十段。生涯を通じて日本柔道の発展に尽力し、その功績を称え、82年の生涯と業績を紹介。
4つのテーマに沿って、パネルや遺品等を展示、また、「三船シアター」や「ビデオライブラリー」など当時の貴重な映像を見ることが出来ます。

区分	個人	団体 20名以上
一般	200円	150円
高校生・学生	150円	100円
小中学生	100円	50円

雫石町歴史民俗資料館

〒020-0572 岩手郡雫石町西安庭
15-39-7
TEL 019-692-3942
FAX 019-692-3942



【休館日】毎週木曜日
年末年始(12/28～1/4)
【開館時間】9時～16時

御所ダム建設以前に町内で使用されていた民具類をはじめ、旧石器時代から古代までの考古資料、江戸時代の歴史資料が数多く展示されています。
また、茅葺きの南部曲り家や水車小屋も自由に見学できます。

区分	個人	団体 10名以上
一般	150円	120円
高校生以下	無料	

二戸市立 二戸歴史民俗資料館

〒028-6101 二戸市福岡字長嶺 80-1
TEL 0195-23-9120
FAX 0195-23-9120



【休館日】
毎週月曜日(祝祭日の場合翌日)、
祝日の翌日、年末年始(12/29～1/3)、
【開館時間】9時～16時 30分

約1500万年前の白鳥川層群の化石から、歴史・民俗・人物など二戸地方の資料が展示され、二戸の自然と歴史文化を伝えます。特に相馬大作とそれに続く会輔社などに関わる資料が充実。また、国の「重要科学技術史資料(愛称:未来技術遺産)」第24号(岩手県の第1号)に登録された明治の「酒の自動販売機」は「現存する日本最古のものです」。

区分	個人	団体 10名以上
一般	50円	30円
小中高校生	20円	10円

二戸市立 浄法寺歴史民俗資料館

〒028-6942 二戸市浄法寺町
御山久保 35
TEL 0195-38-3464
FAX 0195-38-3464

【休館日】
毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
祝日の翌日、年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時~16時30分

国指定重要文化財「浄法寺の漆掻きと浄法寺塗の用具及び製品」を所蔵。今も続く漆の採取や漆器製作の歴史をひも解き、漆と深い関わりを持つ当地ならではの昔の暮らしを紹介しています。
また、天台寺や民間信仰に関する資料をはじめ、密銭の鑄造道具・コナサセ(産婆)道具・捕縄人形など、特色ある珍しい民俗資料もご覧いただけます。

区分	個人	団体 10名以上
大人	210円	110円
小中高・大学・専門学校生	110円	50円

葛巻町郷土資料館

〒028-5402 岩手郡葛巻町
葛巻 12-37-1
TEL 0195-65-8990
FAX 0195-66-2454

【休館日】見学の際は要連絡
【開館時間】10時~16時

農具や生活用具を中心に展示

第1展示室 「住まい・民具」
第2展示室 「歴史・考古」
第3展示室 「食生活」
第4展示室 「野良仕事」
第5展示室 「牛馬・製糸」
第6展示室 「山仕事・大工仕事」

入館無料

八幡平市博物館

〒028-7533 八幡平市叭田 230
TEL 0195-63-1122
FAX 0195-63-1123

【休館日】毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時~16時30分
(入館は16時まで)

岩手県の西北端に位置し、八幡平市の歴史と文化を紹介しています。市の特産品である漆器資料や、国内でも珍しい絵暦・田山暦をはじめとして、昔ながらの農具、生活用品のほか、考古資料の展示も行っています。
また、季節ごとに、各種企画展や講座なども開催しています。

区分	個人	団体 20名以上
大人(高校生以上)	210円	150円
中学生以下	無料	

軽米町歴史民俗資料館

〒028-6302 九戸郡軽米町大字
軽米 9-53-1
TEL 0195-46-4232
FAX 0195-46-3050
(町教育委員会)

【休館日】毎週月曜日・火曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始(12/1~3/31)は予約が必要
【開館時間】9時30分~16時30分
(入館は16時まで)

歴史ある軽米町の文化遺産を町内から収集・保存し、次の4つのテーマに基づき展示しています。

第1展示「時代を切り拓いた鉄産業」
第2展示「暮らしを支えた農法と馬産」
第3展示「軽米町の自然と歴史」
第4展示「祭り」と郷土芸能」

区分	個人	団体 10名以上
大人	150円	70円
小中高生	70円	30円

八幡平市博物館分館 西根歴史民俗資料館

〒028-7401 八幡平市西根寺田 15-127
TEL 0195-77-2024
FAX 0195-77-2024

【休館日】土曜日、日曜日、祝祭日(国民の祝日に関する法律に規定する休日)、年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時~17時
(入館は16時30分まで)

学術文化の向上、地域活性化、生涯学習や学校教育の教材など多面的な目的を持って設置された歴史民俗資料館です。
自然コーナー・コレクションコーナー・農具や機械織り機などの展示・VTRなどで八幡平市西根地域の歴史を説明しています。

入館無料

洋野町立 種市歴史民俗資料館

〒028-7914 九戸郡洋野町
種市 23-27-1
TEL 0194-65-3943
FAX 0194-65-3958

【休館日】毎週水曜日、年末年始(12/29~1/3)、国民の祝日
【開館時間】平日 9時~18時
土日曜日 9時~17時

洋野町種市は「南部もぐりの里」として知られ、多くの潜水士を育成してきました。
その潜水に関する資料を中心に、この地方の特色であった漁業、製塩、製鉄、密造銭や考古資料、民俗資料等を展示しています。図書館との複合施設です。

入館無料

八幡平市 松尾鉱山資料館

〒028-7303 八幡平市柏台 2-5-6
TEL 0195-78-2598
FAX 0195-78-2598

【休館日】毎週月曜日(月曜日が祝祭日の場合、翌日休館)、年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時30分~16時30分
(入館は16時まで)

八幡平市松尾地区の考古、民俗及び松尾鉱山の各分野の資料を保存・展示する「松尾村歴史民俗資料館」として、昭和56年に建設されました。
平成26年4月からは現在の名称に改め、「雲上の楽園」といわれ東洋一の硫黄鉱山であった松尾鉱山に関する資料の保存・展示をし、その存在や意義を後世に伝えることを目的とした施設となっております。

入館無料

アジア民俗造形館

〒028-8201 九戸郡野田村大字
野田 6-75
TEL 0194-78-3252
FAX 0194-78-2158

【休館日】毎週月曜日(国民の祝日に当たる場合は翌平日)
冬季休館(12/31~3/31)
【開館時間】9時~17時

アジア民俗造形館は、日本初のアジア民俗文化施設です。
展示エリアには、築後200年の南部曲り家を改装した展示棟2棟とタイカレン族高床式住居などが設置されています。

区分	個人	団体 20名以上
大人	300円	250円
高大学生	200円	150円
小中学生	100円	50円

御所野縄文博物館

〒028-5316 二戸郡一戸町岩館字
御所野 2
TEL 0195-32-2652
FAX 0195-32-2992

【休館日】毎週月曜日(祝祭日の場合は翌平日)、年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時~17時
(入館は16時30分まで)

縄文時代中期の集落跡である国指定史跡「御所野遺跡」から出土した資料を中心に、竪穴住居のつくり方や縄文の生活を紹介します。土器づくりを行う体験工房や郷土資料コーナー、ミュージアムショップもあります。外の公園に竪穴住居12棟を復元しています。

区分	個人	団体 20名以上
大人	300円	250円
高大学生	200円	150円
小中学生(18歳以下)	無料	

マリナーズパーク 野田玉川

〒028-8202 九戸郡野田村大字
玉川 5-104-13
TEL 0194-66-7200
FAX 0194-66-7200

【休館日】毎週火曜日(祝祭日、8月は通常営業)、年末年始
【開館時間】
4~10月 9時30分~17時
(入館16時まで)
11~3月 9時30分~16時
(入館15時まで)

日本有数のマンガン鉱山跡。坑道の一部を地下博物館として公開。
当時の採掘作業風景の再現や国内外の鉱物、天然石、宝石などを多数展示しています。
バラ輝石の鉱床を手で触れられるコーナーもあります。

区分	個人	団体 20名以上
大人	700円	600円
中高生	500円	450円
小学生	400円	350円

石神の丘美術館

〒028-4307 岩手郡岩手町
五日市 10-121-21
TEL 0195-62-1453
FAX 0195-62-1477

【休館日】毎週月曜日(祝祭日の場合は翌日)、年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時~17時
(入館は16時30分まで)

1993年開館。四季折々の自然と彫刻作品が楽しめる野外エリア「花とアート(森)」では、ピクニック感覚で芸術鑑賞を楽しむことができます。
また、館内企画ギャラリーでは、岩手ゆかりの美術家を中心とした企画展を開催しています。

区分	屋外のみ	企画展
一般	300円 ~500円	別途料金(内容によって変動・割引あり)
高校生以下	無料	

岩手県立水産科学館

〒027-0001 宮古市日立浜町
32番地 28
TEL 0193-63-5353
FAX 0193-64-4855

【休館日】毎週月曜日(祝祭日の場合、翌日)、年末年始(12/28~1/4)、夏休み期間等臨時閉館あり
【開館時間】9時~16時30分

日本でも有数の水産王国、いわて。岩手の海には多くの種類の魚たちが住み、この恵まれた条件をいかして漁業が盛んに行われています。そんな海の姿、魚たち、漁法などを様々な角度からとらえ、ひとめで理解できる全国初の水産業専門科学館です。

区分	個人	団体 20名以上	その他
大人	310円	140円	教育活動や障害者及び福祉施設等の免除あり
学生	140円	70円	
小中高生	無料		

宮古市 北上山地民俗資料館

〒028-2302 宮古市川井 2-187-1
TEL 0193-76-2167
FAX 0193-76-2933



【休館日】毎週月曜日(祝祭日の場合はその翌日)、年末年始(12/29~1/3)、くん蒸等臨時休館あり
【開館時間】9時~17時

北上山地の中央部に位置する宮古市川井地域を中心に、市内全域で収集された有形民俗資料を収蔵。「山人の仕事と祈り」、「山里の暮らしと道具たち」をテーマに約2,500点を常設展示。
山間地医療に尽くした医師の診察室を再現したコーナーや映像展示室もある。収蔵資料の一部が国の重要有形民俗文化財に指定されています。

区分	個人	団体 10名以上
一般	200円	100円
大学生	150円	80円
高校生以下	無料	

龍泉新洞科学館

〒027-0501 下閉伊郡岩泉町岩泉字 神成 1-1
TEL 0194-22-2566
FAX 0194-22-5005



【休館日】年中無休
【開館時間】8時30分~17時(10~4月)
8時30分~18時(5~9月)

龍泉新洞は、龍泉洞入口の向かい側にある鍾乳洞で、昭和42年に発見されました。
洞内から発見された多数の土器・石器などを中心に洞穴学・地学・生物学・考古学等の貴重な資料や標本を展示した世界で初めての自然科学館として公開しています。

区分	個人	団体 15名以上
大人	1,100円	930円
高校生	1,100円	770円
小中学生	550円	380円

※ 龍泉洞との共通券の料金

宮古市崎山貝塚 縄文の森ミュージアム

〒027-0097 宮古市崎山 第1地割 16番地 1
TEL 0193-65-7526
FAX 0193-65-7508



【休館日】毎週月曜日(祝祭日の場合は翌平日)、館内整理日(毎月月末平日)、ただし12月は28日)年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時~17時(入館は16時30分まで)

国指定史跡崎山貝塚から出土した遺物や貝塚をはぎ取った地層の展示、プロジェクションマッピングなどを用いた映像展示のほか、火おこし、弓矢体験など縄文体験を行うことができる考古系ミュージアムです。

区分	個人	団体 10名以上
大人	200円	100円
学生	150円	80円
高校生以下	無料	

岩泉町歴史民俗資料館

〒028-5643 岩泉町妻綿字関屋 57番地 1
TEL 0194-25-5125
FAX 0194-22-4545



【休館日】毎週月~水曜日及び年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時~16時

自然、地質、考古、民俗等の資料を展示し、特に龍泉洞をはじめ地質ではジオパーク等充実した展示となっており、岩泉の大地の成り立ちを見ることができます。そのほか、遮光土偶やイヌワシの剥製、小川炭鉱の資料も展示し、また、閉校となった学校を中心に資料展示も行っています。

区分	個人	団体 20名以上
一般	300円	200円
高校生以下	無料	

大船渡市立博物館

〒022-0001 大船渡市末崎町字 大浜 221-86
TEL 0192-29-2161
FAX 0192-29-2162



【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29~1/3)、臨時休館あり、ホームページや電話でご確認ください。
【開館時間】9時~16時30分(受付は16時まで)

地質展示室ではサンゴ、三葉虫の化石などを展示。考古・民俗展示室では、縄文時代の土器や貝塚の断面、三陸沿岸の磯船(模型)を展示。東日本大震災津波映像と過去の津波に関する展示を開催中。
子ども向けの「体験コーナー」では、ペーパークラフトや展示物をスケッチして楽しむことができます。

区分	個人	団体 20名以上
一般	300円	250円
高校生以下	無料	

※「世界の椿館・暮石」との共通入館券あり

住田町民俗資料館

〒029-2501 気仙郡住田町上有住字 山脈地 15-1
TEL 0192-48-2013
FAX 0192-48-3249



【休館日】日曜日、祝祭日、年末年始、臨時休館あり(日曜日の休館は当面の間です。事前申し込みにより入館可能です。)
【開館時間】9時~16時

気仙大工の高度な木造建築技術でつくられた旧上有住小学校校舎を利用し、住田の産業・農耕・民俗・信仰・考古などの資料を展示しています。
また、平泉の黄金文化を支えたとも言われる気仙地方の産金にまつわる資料を展示しているほか、郷土の歌人、佐藤霊峰を作品とともに紹介しています。

区分	個人	団体 20名以上
一般	220円	165円
小中高生	110円	55円

釜石市立鉄の歴史館

〒026-0002 釜石市大平町3丁目 12番7号
TEL 0193-24-2211
FAX 0193-24-3629



【休館日】毎週火曜日、年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時~17時(入館は16時まで)

近代製鉄の父と言われる大島高任の資料の展示や、製鉄産業の流れをパネルで紹介しています。
また、世界遺産に登録された橋野鉄鉱山の三番高炉の原寸大模型を使い、音と光と映像によって、往時の鉄づくりの様子を17分間にまとめ紹介しています。

区分	個人	団体 20名以上
一般	500円	400円
高校生	300円	200円
小中学生	150円	100円

山田町 鯨と海の科学館

〒028-1371 下閉伊郡山田町 船越 7-50-1
TEL 0193-84-3985
FAX 0193-84-3986



【休館日】毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始、資料整理日(12/1~12/10)
【開館時間】9時~17時(入館は16時30分まで)

テーマは「人間とかかわる海」、「自然環境としての海」、「生命をはぐくむ海」の3つ。
生命の神秘に満ちた海を展示紹介。世界最大のマッコウ鯨の実物骨格標本や鯨の原寸復元モデルが皆さんを海の世界へ案内します。

区分	個人	団体 20名以上
大人	300円	240円
高大学生	200円	160円
小中学生	150円	120円

釜石市郷土資料館

〒026-0031 釜石市鈴子町 15-2
TEL 0193-22-2046
FAX 0193-22-2046



【休館日】毎週火曜日、年末年始(12/28~1/4)、資料整理等の臨時休館あり
【開館時間】9時30分~16時30分(入館は16時まで)

釜石市郷土資料館は釜石の歴史と文化を語り継ぐために設置されました。資料のほとんどは市民からの寄贈によるもので、いわば市民手作りの資料館です。
釜石の「歴史・考古」、「戦災」、「民俗」、「製鉄」、「自然」、「津波・震災」のテーマごとに展示しています。

区分	個人	団体 20名以上
大人	200円	100円

※ 高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料

田野畑村民俗資料館

〒028-8407 下閉伊郡田野畑村 田野畑 128-9
TEL 0194-33-2210
FAX 0194-33-2210



【休館日】毎週月曜日(祝祭日の場合は翌平日)、祝祭日の翌日、年末年始(12/28~1/4)
【開館時間】10時~15時30分(入館は15時まで)

三閉伊一揆をテーマにした田野畑村の歴史を細解くために必要な情報が詰まった資料館。三閉伊一揆資料だけでなく、昔の生活民具や、村内遺跡から発掘された土器が展示されています。
ほぼ完全に出土したアーモンドアイが特徴の土偶も展示されています。

区分	個人	団体 20名以上
大人	310円	260円
学生	210円	160円
小学生以下	160円	100円

陸前高田市立博物館

〒029-2205 陸前高田市高田町字 並杉 300番地 1
TEL 0192-54-4224
FAX 0192-54-4225



【休館日】毎週月曜日(祝日・休日の場合は翌日)、年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時~17時(入館は16時30分まで)

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波により旧施設は全壊し、資料も壊滅的な被害を受けました。被災した資料については、全国の専門機関の協力を得て、約56万点のうち約46万点を救出し、それらに対する安定化処理及び修理作業を、今日まで継続しております。
被災した博物館は、同じく東日本大震災により壊滅的な被害を受けた海と貝のミュージアムと合築して新設し、発災から約11年8か月後の令和4年11月に開館しました。

区分	個人	団体 20名以上
大人	200円	100円

※ 高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料
(特別展示を行う場合は、展示内容に応じ観覧料を徴収する場合があります。)

一関市博物館

〒021-0101 一関市蔵美町字 沖野々 215-1
TEL 0191-29-3180
FAX 0191-33-4006



【休館日】毎週月曜日(祝日・休日の場合はその翌日)、資料整理日(11/26~12/13)、年末年始(12/29~1/3)
【開館時間】9時~17時(入館は16時30分まで)

● 通史展示
一関のあゆみ(過去から未来への展望)
● テーマ展示
① 舞草刀と刀剣(日本刀の源流)
② 玄沢と蘭学[蘭学者大槻玄沢の業績]
③ 文彦と言海[近代の国語辞書の著者]
④ 一関と和算[和算隆盛の地一関]
年間4回程度、特別展・企画展を開催

区分	個人	団体 20名以上
一般	300円	240円
高大学生	200円	160円
小中学生	無料	